

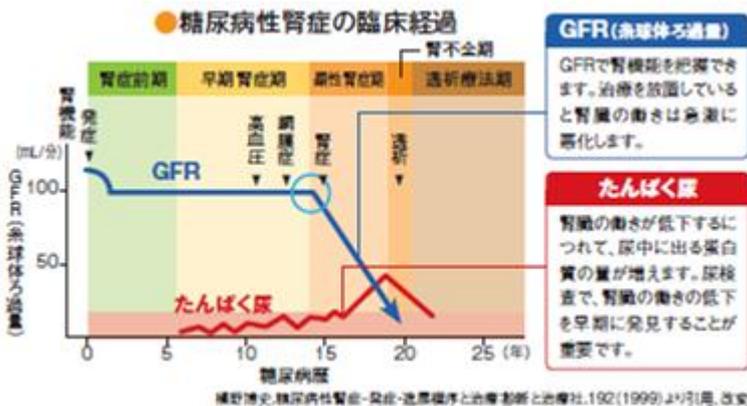
「CKD と糖尿病のふか～い関係について」

糖尿病によって腎臓の機能が悪化することがあります。

FROM-J に参加されている患者さんの中には糖尿病を患っている方も大勢います。糖尿病によって腎臓の機能が悪化していく病気のことを「糖尿病性腎症」といいます。高血糖状態が持続すると、腎機能(GFR; 糸球体濾過量)の悪化スピードが速くなることが知られています。したがって、血糖値をコントロールしていくことは、CKD の重症化予防のためにも必要なことです。

CKD が悪化していくと透析導入になってしまう事は今までも触れてきましたが、この透析になる原因では、この「糖尿病性腎症」の占める割合が年々増加し、現在では一位となっております。つまり、「糖尿病になると、腎臓の働きが悪くなり、腎臓の働きが悪くなると、透析になってしまった」という患者さんが非常に多いのです。早期の糖尿病性腎症には自覚症状がないことが多く、早期の段階から血糖、血圧、脂質、食事・生活などの管理がきわめて大切です。

また、糖尿病は三大合併症として神経症、網膜症、腎症が知られており、進行すると日常生活に大きな支障が生じるので、糖尿病に対して適切な治療を継続していく必要があります。



「今まで大丈夫だったから、今回も大丈夫だろう」と思っていると急に悪化してしまい、取り返しのつかないことになってしまう怖さがあります。これを防ぐためには、かかりつけ医の先生に定期的に通院することが大事です。また、かかりつけ医の先生から勧められたら定期的に専門医の先生にも見てもらう事が重要です。

**あなたの体のために、
月に1度はかかりつけ医を受診しましょう**

※FROM-J 通信次号(41号)の配信は、7月を予定しております。

FROM-J研究代表者 筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 山縣 邦弘

＜お問い合わせ先＞

FROM-Jヘルプデスク TEL:0120-15-2664(平日 9:00~17:30)

※参加ご辞退のお申し出と行き違いに本紙がお手元に届きました場合は、ご容赦ください。